

課題名：【2-1907】気候変動適応を推進するための情報デザインに関する研究

実施期間：2019～2021 年度

研究代表者：浜田 崇

所属：長野県環境保全研究所

重点課題 主：【重点課題 ⑦】気候変動への適応策に係る研究・技術開発

副：【重点課題⑧】地球温暖化現象の解明・予測・対策評価

本研究のキーワード：気候変動適応、情報デザイン、地域気候変動適応センター、情報作成の手引き、活動事例集

■研究の背景と目的

気候変動の影響は地域の状況により異なるため、自治体を中心となって地域の実情に応じて適応策を進めることが重要です。その拠点として、地域気候変動適応センター（LCCAC）が設置されてきました。しかし、自治体における適応策の社会実装はまだ十分に進んでいません。これは、気候変動に関する情報がそれを必要とする人達にとって必ずしも使いやすい情報になっていないことが要因の一つであると考えられます。そこで本研究では、この課題の解決に向け、気候変動適応に必要な種々の情報のデザインを開発し、そのデザインがLCCACにとって参考となるような情報作成の手引きを作ることを目的としています。

■研究成果及び環境政策等への貢献

気候変動適応を推進するため求められている気候変動情報とは何か、そしてその情報作成にあたってLCCACが抱える課題は何かをまず把握しました。それと同時に、高密度気象情報を用いたデータベース、地域気候変動マップ、土砂災害警戒区域における発生確率情報、農作物の凍霜害早期警戒情報、児童の熱中症予防の判断基準情報のほか、気候変動の実態や将来予測情報、生態系分野の影響情報などの情報デザインを開発しました。LCCACの課題解に対応する形で、開発された情報デザインを掲載した情報作成の手引きを作成しました。この開発された情報デザインの一部は、長野県および県内5市町における地域気候変動適応計画等の策定に使われていますし、今後各地のLCCACが地域気候変動適応計画の策定支援や適応策の創出支援などを行うときに貢献できるものと期待されます。

【研究概要図】

